

建築物耐震診断判定通知書

交付番号 SKK判第 13021 号

交付年月日 平成 25 年 11 月 13 日

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査
代表取締役社長 兼平 久



下記による申請について、判定しましたので通知します。

記

1	申請年月日	平成25年10月8日		
2	建築物の名称	稚内南中学校 校舎A棟(19棟)		
3	建築物の所在地	稚内市緑1丁目		
4	主要用途	中学校 校舎	5 階 数	地上 3 階 地下 1 階 塔屋
6	構造	RC造	7 軒 高	10.5 m
8	延べ面積	2,434 m ²		

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会の判定

別添判定書のとおり妥当なものである。

株式会社 札幌工業検査 建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健 一



SKK判第 13021 号

平成25年11月13日

耐震診断判定書

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋 本 健 一



平成25年10月8日 付耐震診断判定申込のあった建築物について、
次のとおり判定します。

記

1 耐震診断対象建築物

名 称	稚内南中学校 校舎A棟(19棟)
所 在 地	稚内市緑1丁目
構造・規模	RC造 地上 3階 塔屋 1階 ・ 2,434 m ²

2 審 査 結 果

耐震診断は適正におこなわれている。

以上

(様式1)

§ 1 建物概要

1-1 一般事項

建物名称		稚内南中学校 校舎A棟(19棟)			
建築場所		稚内市緑1丁目			
用途		(竣工時) 中学校 校舎		(現 状) 中学校 校舎	
設計者等	設計者	株式会社 久米建築事務所			
	監理者	株式会社 久米建築事務所			
	施工者	不明			
	診断者	株式会社 創 建 社			
建物規模	敷地面積	28,500 m ²	建築面積	798.0 m ²	
	延べ面積	2,434 m ²	基準階面積	798.0 m ²	
	軒 高	10.50 m	最高の高さ	14.1 m	
	基準階階高	3.3 m	地下階高	－ m	
建物履歴	設計年	昭和51年(1976年)		竣工年	昭和52年(1977年)
	増築・改築	有 ・ (無)	(履歴の内容) 平成3年(1991年) 平成14年(2002年) 平成22年(2010年) } 大規模改修工事		
	補修・模様替	有 ・ (無)			
	用途変更	有 ・ (無)			
	火 災	有 ・ (無)	観測点:稚内市中央 平成18年(2006年)8月 サハリン西方沖 震度2 平成25年(2013年)5月 オホーツク海 震度1		
	震 災	有 ・ (無)			
構造概要	構造種別	鉄筋コンクリート造		構造形式	耐震壁付ラーメン構造
	階数	地上 3階	地下 ー	塔屋	1階
	基礎形式	独立基礎		地 業	(直接) ・ 杭 地耐力 30 t/m ²
	地盤	1種 (2種) ・ 3種	支持層	軟質泥岩 杭支持力	
	敷地概況	平坦地			杭径
設計図書	既存図面等	意匠図 : 一般図 (有) ・ 無		詳細図: (有) ・ 無	
		構造図 : (有) ・ 無		構造計算書 : (有) ・ 無	
		地質調査資料 : 有 ・ (無)		(近隣資料 (有) ・ 無)	
	添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料など			
仕(下地共)上概要	屋 根	コンクリート直均しの上、アスファルト露出防水			
	外 壁	モルタル厚20mmの上、リシン吹付			
	天 井	プラスターボード t=9、V・P仕上 他			
	内 壁	シナベニヤ t=6、V・P仕上 他			
	床	ビニルアスベストタイル貼り 他			
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm	(現状)	130 cm	
	(煙突)	(塔屋)	Exp.Jの(有) 無		

(様式2)

耐震診断結果表

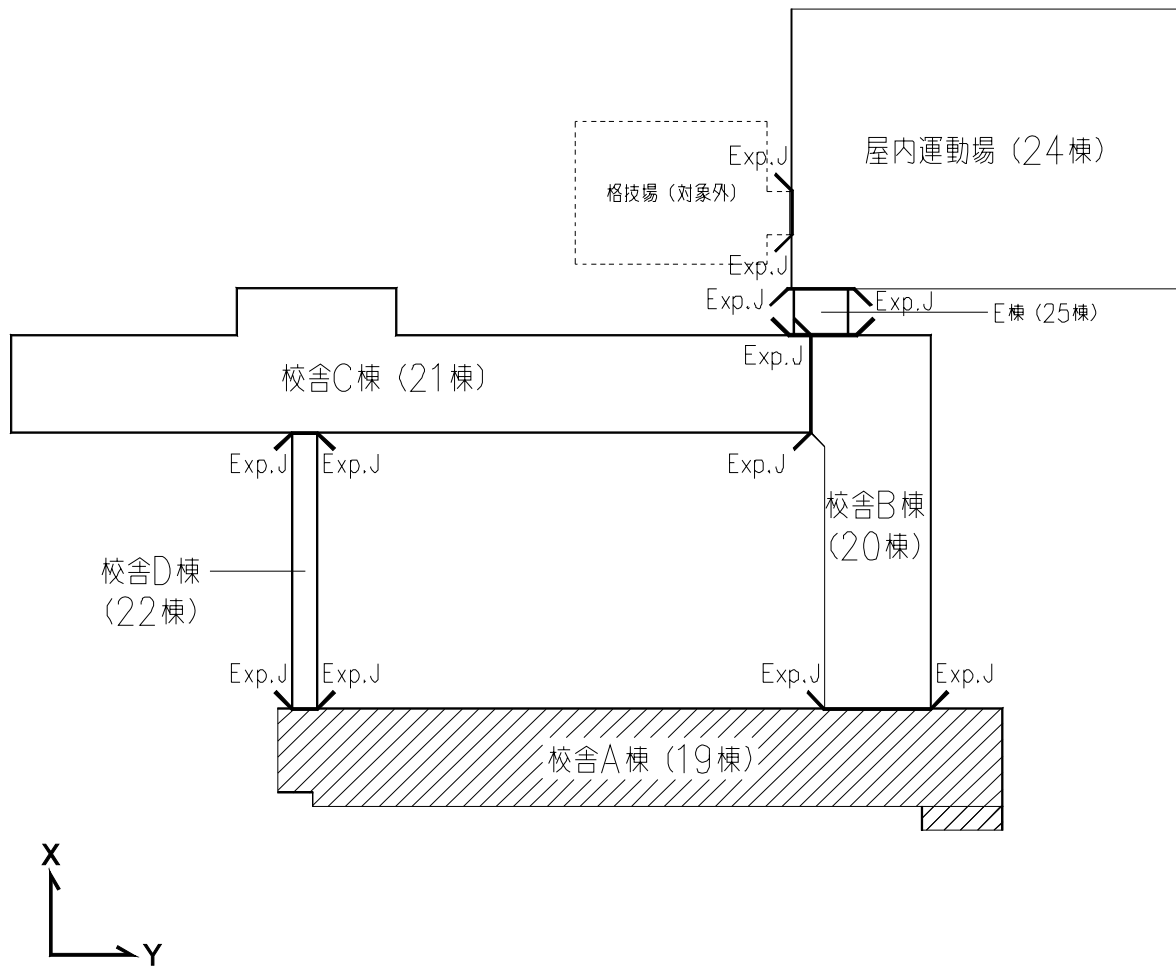
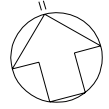
建物名称(棟 名)		稚内南中学校 校舎A棟(19棟)							
層重量(kN)		1階	9723.83	2階	9287.35	3階	8289.19	PH階	1012.49
単位重量(kN/m ²)		1階	12.20	2階	11.95	3階	10.66	PH階	12.19
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X方向	階		階		階		階	
	Y方向	階		階		階		階	
耐震診断結果(正・負加力で不利な数値を記入)		判定指標値 Iso =0.56				C _{TU} ・S _D = 0.24			
方 向	階	F	E ₀	S _D	T	I _s	C _{TU} ・S _D	判定	
X方向 (張間方向)	PH	1.00	2.732	0.903	0.933	2.302	2.467	OK	
	3	1.00	1.642	0.722	0.933	1.107	1.186	OK	
	2	1.00	0.989	0.903	0.933	0.833	0.893	OK	
	1	1.00	0.820	0.903	0.933	0.691	0.741	OK	
Y方向 (桁行方向)	PH	1.00	1.374	0.812	0.933	1.042	1.117	OK	
	3	1.00	0.932	0.903	0.933	0.786	0.842	OK	
	2	1.00	0.562	0.903	0.933	0.474	0.508	NG	
	1	1.00	0.508	0.903	0.933	0.428	0.458	NG	
結果 (特性)	X方向 (張間方向)	各階とも構造耐震指標 I _s 値及び累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っており、「想定する地震動に対して所要の耐震性を確保している。」と判定される。							
	Y方向 (桁行方向)	各階とも累積強度指標値 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っているが、構造耐震指標 I _s 値は1階、2階で判定値を下回っており「耐震性に疑問がある。」と判定される。							
煙 突		増幅率(β _H)1.5に対して、所要の耐震性能は確保されている。							

(様式-3a)

耐震診断指標(RC造)

耐震性能	RC造	準拠耐震診断基準		「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準 同解説」2001年改訂版 (財)日本建築防災協会	
		適用(参考)図書		同上	
		診断次数		二次診断	
		使用計算プログラム	建物重量等	ACE許容2-RC (Ver. 2.42) (株)東京デンコー	
			診断計算	ACE診断2001 (Ver. 3(2009)) (株)東京デンコー	
		耐震判定基本指標	E_s	0.7	
		地盤指標	G	1.0	
		用途指標	U	1.0	
		地域指標	Z	0.8	
		構造耐震判定指標	I_{so}	$0.7 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.56$	
累積強度指標	$C_{TU} \cdot S_D$	$0.3 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.24$			
鉄骨造	準拠耐震診断基準		/		
	適用(参考)図書				
	使用計算プログラム	建物重量等			
		診断計算			
	地盤指標	G			
	用途指標	U			
	地域指標	Z			
	構造耐震判定指標	I_s			
q指標					
材強度	コンクリート強度 (設計基準強度)	PH 階	F_c : 210 kg/cm ²	診断強度	$F_c 21$: 21 N/mm ²
		1~3 階	F_c : 210 kg/cm ²	$F_c 21$: 21 N/mm ²	
	鉄筋材種 鉄筋降伏点強度 直径・間隔	柱主筋	SD 35 : 394 N/mm ²	・ D19、D22、D25	
		柱帯筋	SR 24 : 294 N/mm ²	・ 9φ @100mm、13φ @100mm	
		梁主筋	SD 35 : 394 N/mm ²	・ D19、D22、D25	
		梁肋筋	SR 24 : 294 N/mm ²	・ 9φ @200mm、13φ @125、@175、@200mm	
		壁主筋	SR 24 : 294 N/mm ²	・ 9φ @200mm S ・ 9φ @200mmD、@250mm Dチドリ	
	鉄骨材種 鉄骨降伏点強度	柱	N/mm ²		
		梁	N/mm ²		
		ブレース	N/mm ²		
高力ボルト					
リベット					
その他	第2種構造要素の処理		なし		

1-3 添付図書



	階数	構造	延べ面積	建築年次	備考
校舎A棟	3・塔屋1	RC造	2,434 m ²	昭和52年8月 (1977年)	19棟
校舎B棟	2	RC造	823 m ²	昭和53年3月 (1978年)	20棟
校舎C棟	2	RC造	1,895 m ²	昭和53年3月 (1978年)	21棟
校舎D棟	2	RC造	68 m ²	昭和53年3月 (1978年)	22棟
E棟	2	WRC造	81 m ²	昭和53年10月 (1978年)	25棟
屋内運動場	2	S造一部SRC造	1,216 m ²	昭和53年10月 (1978年)	24棟